

水中照明

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。  
取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

このたびはTOTO水中照明 をご採用いただきましてありがとうございました。

製品の機能が十分発揮されるように、この「施工説明書」の内容にそって正しく施工してください。

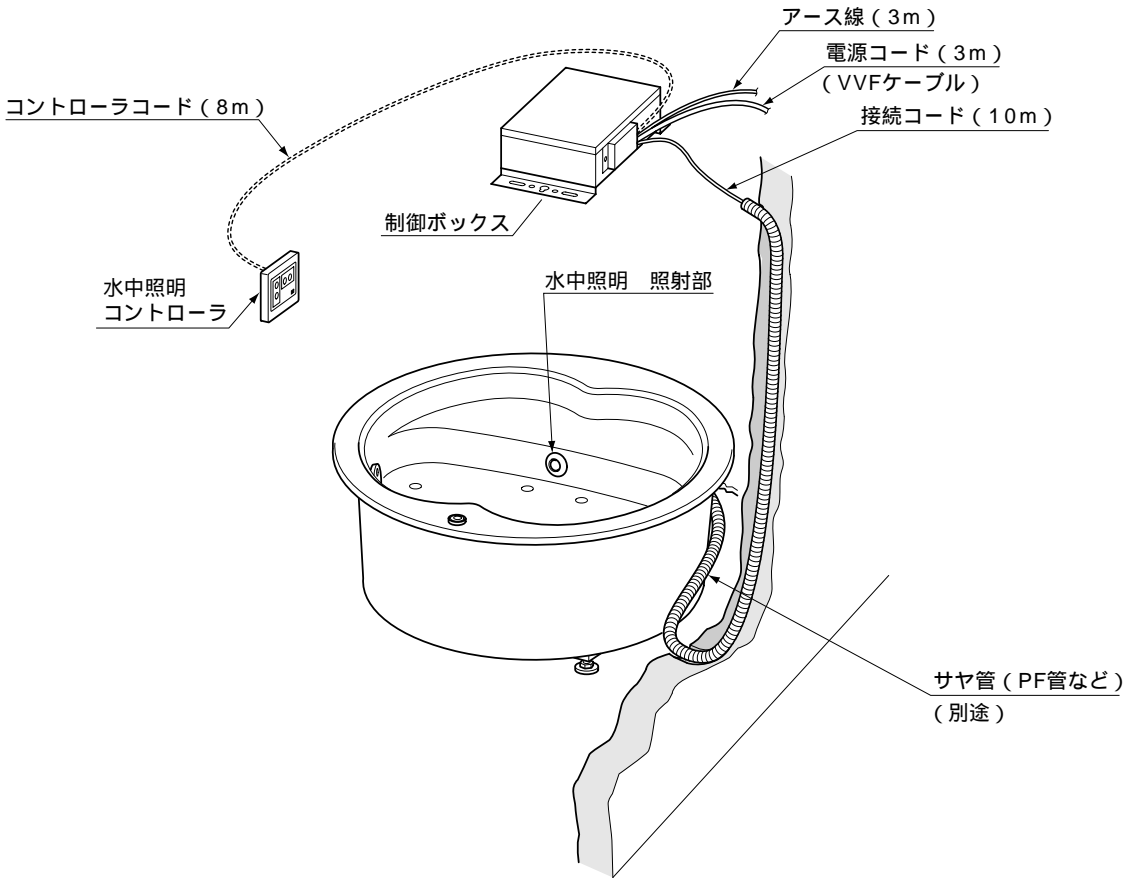
なおこの説明書は、水中照明 の施工のみを記載しています。浴槽本体、エアブロー 、ブローバスSX の施工については、それぞれの施工説明書をご確認の上、正しい施工をお願いします。

浴槽据付・機能部取付など各種施工と電気・水道工事は工程を十分に打合わせのうえ行ってください。

工事完了後は、お客様に操作説明を行い、この施工説明書と同封の「取扱説明書（保証書付）」をお渡しください。

なお、「保証書」には必要事項を必ず記入してください。

施工説明書に記載の品番は、改訂する場合がありますので、ご了承ください。



# もくじ

1. 安全上の注意 ..... 4 ~ 7

2. セット内容 ..... 8

3. 寸法図および仕様 ..... 9

4. 施工手順 ..... 10

5. 施工上の注意 ..... 11 ~ 12

5-1 施工上の注意

5-2 設置場所の選定

6. 施工要領 ..... 13 ~ 26

(1) 接続コード取出口の施工 ..... 13

(2) コントローラ取付位置の確認 ..... 14

(3) サヤ管工事と接続コードの浴槽側への接続 ..... 15 ~ 16

(4) 制御ボックスの取付け ..... 17 ~ 18

(5) 接続コード・コントローラコードの制御ボックス側への接続 ..... 19

(6) 浴室照明配線の接続 ..... 20

(7) 電気工事 ..... 21

(8) コントローラの取付け ..... 22 ~ 23

(9) 取出口カバーの取付け ..... 24

(10) 点検 ..... 25

(11) 試運転 ..... 25 ~ 27



7. 別売品 ..... 28

# 1. 安全上の注意




安全のために必ずお守りください。

取付け工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

この施工説明書では、製品を安全に正しく取付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事業者への危害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

表 示	意 味
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

下に示す表示は施工説明書や製品に表示して、工事業者の方に安全に正しく製品を取付けていただくためのものです。内容をよく理解して正しく取付けてください。

表 示	意 味
	行ってはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。
	必ずアース線を接続してください。



取付け工事完了後、施工説明書に記載の「確認及び試運転」にしたがって各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・漏水など安全上の不具合がないことを確かめてください。

製品に同梱されている取扱説明書（保証書付）は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要なものです。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者又は建築工事責任者にお渡しください。なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

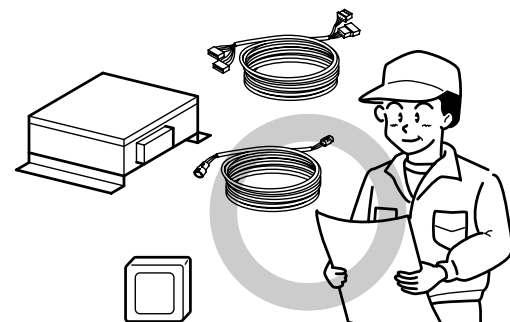
## ⚠ 警告



必ず実行

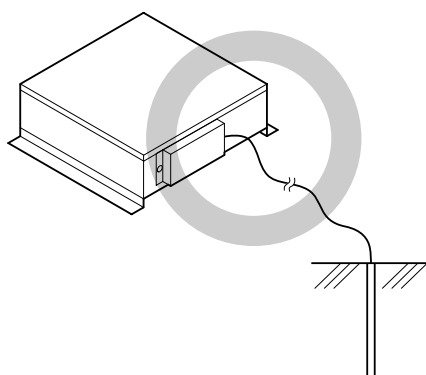
設置は、施工説明書にしたがって  
確実に行ってください。

設置が不完全な場合、感電や火災  
などの原因となります。また、漏  
水により家財などを汚したり、腐  
らせるおそれがあります。



アース線

電気工事は、関連する法令・法規にしたがって必ず「有資格者(電気工事士)」が行ってください。  
また、この製品は、アースの接続(D種接地工事)が絶対必要です。  
誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



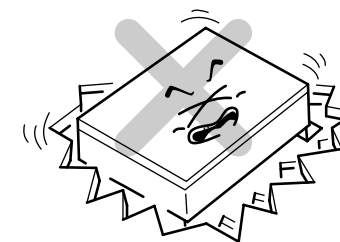
## ⚠ 警告



必ず実行

機器の設置は、質量に十分耐える  
安定した場所に施工説明書通りに  
確実に行ってください。

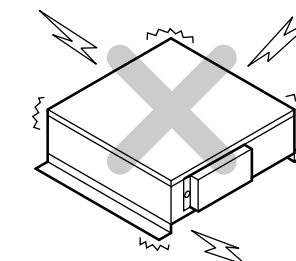
設置に不備があると、機器の落下、  
転倒によりケガをするおそれがあ  
ります。



必ず実行

メタルラス張り、ワイヤラス張りなどの木  
造の造営物に取付ける場合、造営物とは電  
氣的に接続しないようにしてください。

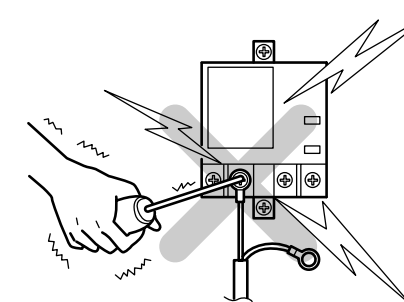
感電や発熱・火災の原因となります。



必ず実行

制御ボックスの配線接続時は、機能部の電  
源が入っていないことを確認してください。

感電の原因となります。



!

必ず実行

接地コードの取出開口部の防水処理は確実に行ってください。

工事に不備があると漏水し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

開口部

ブロック

端部

コーキング  
(押入金物併用)

アスファルト防水

モルタル

開口部

コンクリート

防水処理例

⊘

禁止

モルタルなどで浴槽裏面・浴槽リム・照射部・接続コードを埋め込まないでください。

メンテナンスができなくなります。

モルタル、砂など

!

必ず実行

開梱後、不要になった梱包材はすみやかに処分してください。

木枠・釘・段ボールや締付バンドなどでケガをするおそれがあります。

また、ビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 2. セット内容

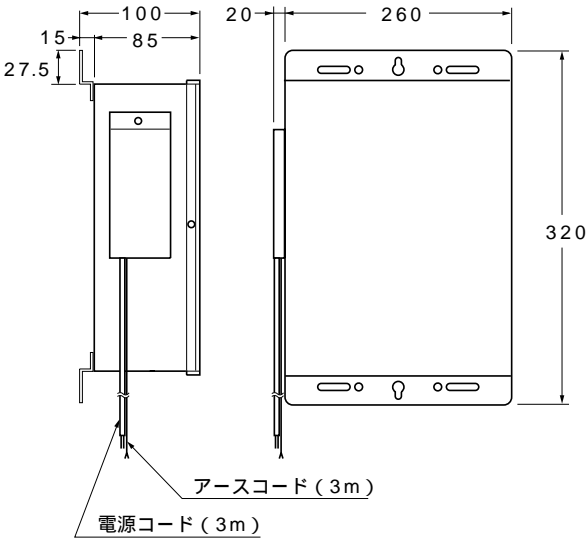
製品を開梱しましたら、下記の内容にそって部品と個数を確認してください。

水中照明	品 名	形 状	個数	品 名	形 状	個数	品 番
	制御ボックス		1	丸 木 ね じ ( 3.8 × 32 )		2	PRE310
				ス テ ー パ イ プ		1	
				カ セ ッ ト パ ッ キ ン		1	
	コントローラ		1	カ セ ッ ト ベ ー ス		1	
				ナ ッ ト		1	
				カ セ ッ ト カ バ ー		1	
	接続コード ( 10m )		1	コ ー ド ク ラ ン プ		1	
	コントローラコード ( 8m )		1	タ ッ ピ ン ね じ ( 4 × 6 )		1	
				ケ ガ キ 用 ク ギ		1	

接続コード、コントローラコードを壁内に通すためのサヤ管(電線管)は現場で手配願います。  
(接続コード用：内径 14 以上、コントローラコード用：内径 20 以上)

3. 寸法図および仕様

[ 制御ボックス ]



品 番	制御ボックス
	PRE310
外 寸 (mm)	280(幅)×100(奥行)× 320(高さ)
本 体 質 量	4kg
定 格 電 圧	AC100 V
定 格 周 波 数	50Hz / 60Hz ( 共 用 )
定 格 電 流	0.4A
定 格 消 費 電 力	40W(注)
安 全 装 置	漏電ブレーカー 絶縁トランス 連続運転防止装置 ( 15 分タイマー )
設 置 場 所	屋内・浴室外( 屋外不可 )

( 注 ) 制御ボックスには、最大定格消費電力 300W 以下の浴室照明 ( 材工共別途 ) が接続可能です。制御ボックス全体の定格消費電力は、水中照明 40W と浴室照明の定格消費電力をたした合計になります。

4. 施工手順

浴槽下地づくり

( 1 ) 接続コード取出口の施工 ( P13 )

( 2 ) コントローラ取付位置の確認 ( P14 )

埋込コントローラ<sup>(注1)</sup> 下地づくり  
( 施工説明書は別売品付属 )  
養生ボックス取付け・下地モルタル塗り  
養生ボックス取外し・壁穴加工  
埋込みボックス取付け

接続コード<sup>(注2)</sup> の延長

( 3 ) サヤ管工事と接続コードの浴槽側への接続 ( P15 )

排水管取付け  
浴槽据付け  
浴槽固定

絶縁板<sup>(注3)</sup> 取付け工事

( 4 ) 制御ボックスの取付け ( P17 )

長尺コントローラコード<sup>(注4)</sup> の交換

( 5 ) 接続コード・コントローラコードの  
制御ボックス側への接続 ( P19 )

( 6 ) 浴室照明配線の接続 ( P20 )

タイル仕上げ

( 7 ) 電気工事 ( P21 )


長尺ステーパイプ<sup>(注5)</sup> の取付け


( 8 ) コントローラの取付け ( P22 )

( 9 ) 取出口カバー<sup>(注6)</sup> の取付け ( P24 )

( 10 ) 点検 ( P25 )

( 11 ) 試運転 ( P25 )

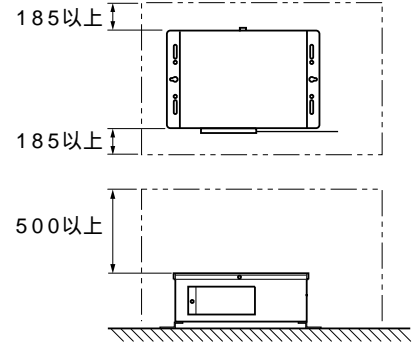
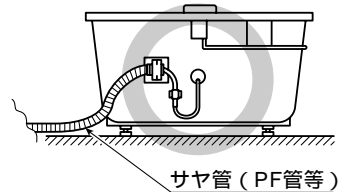
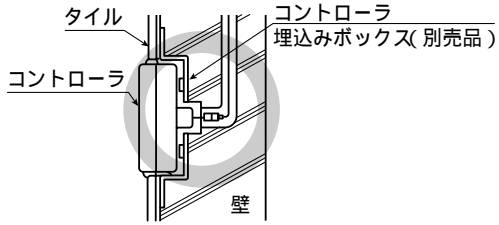
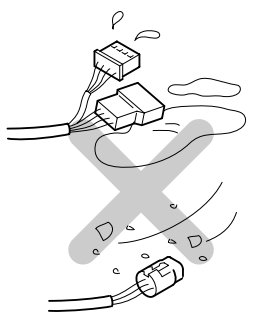
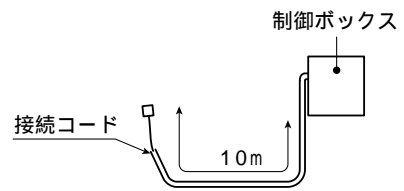
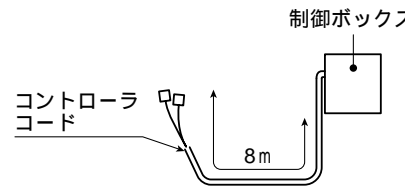
 囲み部は浴槽本体の施工です。  
詳細については、スーパーエクセレントバスは 浴槽本体 、ネオマープ・ネオエクセレントバスは<ブローバスSX  
の施工説明書を参照してください。

 囲み部は別売品の施工です。  
下記の別売品のうち、必要部材を購入の上、施工してください。  
くわしくはP28の別売品一覧表をご覧ください。  
また、別売品は各々の製品に同梱されている施工説明書にしたがって施工を行ってください。

- 別売品
- ( 注 1 ) 埋込みコントローラキット  
水中照明のみ ( 1 ヶ用 ) : PZ6026  
水中照明+エアブロー ( 2 ヶ用 ) : PZ6025
- ( 注 2 ) 延長用接続コード 5m  
( 品番 : PZ6019 )
- ( 注 3 ) 絶縁板  
( 品番 : RHG696 )
- ( 注 4 ) 長尺コントローラコード 10m  
( 品番 : PZ6017 )  
長尺コントローラコード 15m  
( 品番 : PZ6018 )
- ( 注 5 ) 長尺ステーパイプ  
( 品番 : FH77 )
- ( 注 6 ) 取出口カバー  
( 品番 : PZ6015 )

# 5. 施工上の注意

## 5-1 施工上の注意

<div>1</div> <div>制御ボックスは点検できる換気の良い屋内に設置してください。</div> <div></div> <div>(点検できなくなります。)</div>	<div>2</div> <div>接続コードを引き廻す際は、必ずサヤ管 (PF管 など) を使用してください。</div> <div></div> <div>(メンテナンスができなくなります。)</div>
<div>3</div> <div>コントローラを埋込む場合、埋込ボックスはタイル貼りの前に壁に埋込む施工をしてください。</div> <div></div> <div>(施工できなくなります。)</div>	<div>4</div> <div>コントローラコード・接続コードのコネクタ部は、水に濡らしたりゴミを付けたりしないでください。</div> <div></div> <div>(故障の原因となります。)</div>
<div>5</div> <div>制御ボックスは接続コード (10m) が接続可能な範囲で取付けてください。</div> <div></div> <div>(コード長さが足りない場合、浴槽据付け前に、別売品の延長用接続コードをたしてください。)</div>	<div>6</div> <div>制御ボックスは、コントローラコード (8m) が接続可能な範囲で取付けてください。</div> <div></div> <div>(コード長さが足りない場合、コントローラコードを制御ボックスへ接続する前に別売品の長尺コードに交換してください。)</div>

## 5-2 設置場所の選定

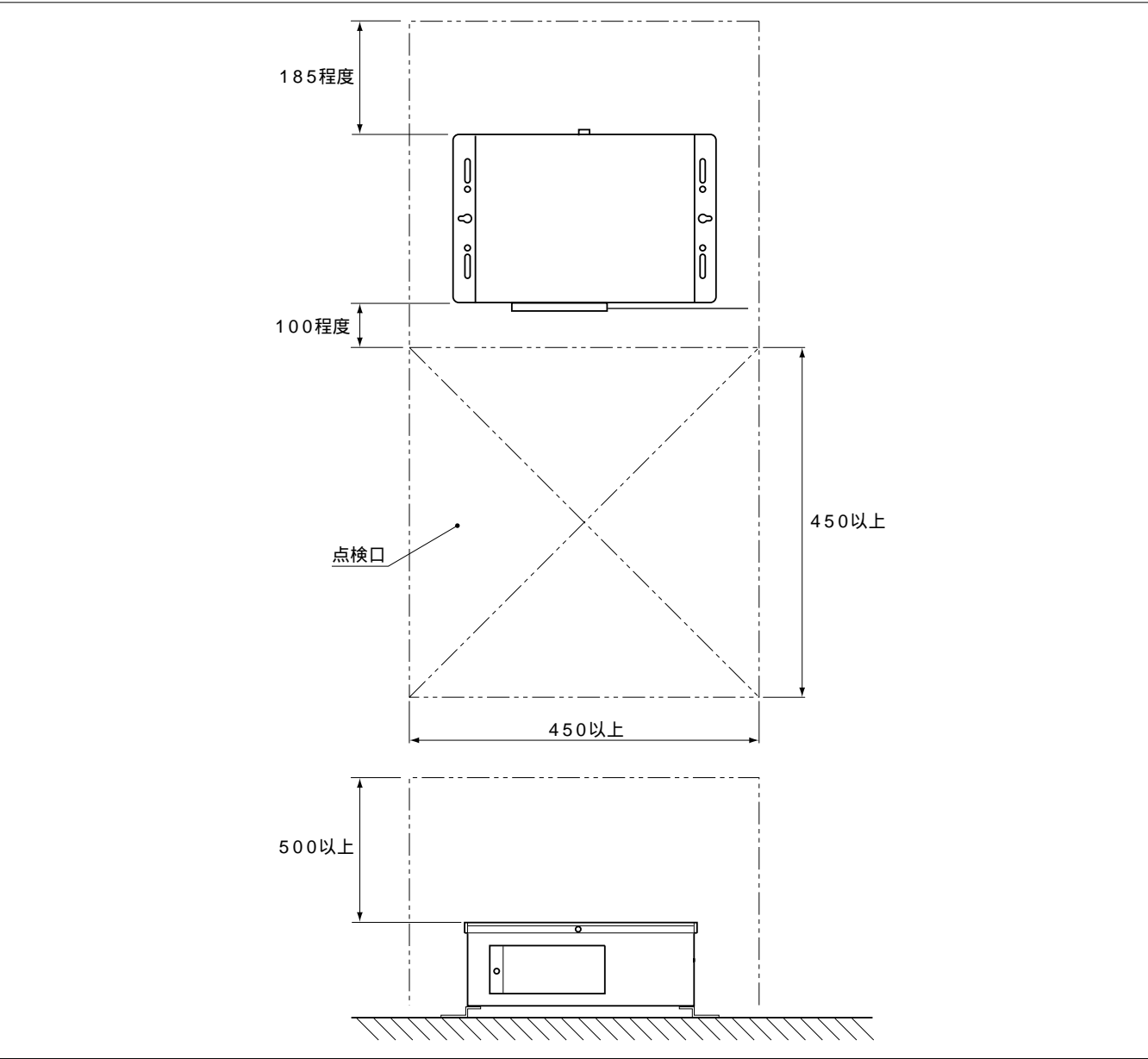
機器の設置に当っては次の点にご注意ください。

制御ボックスは屋内の浴室外で換気の良い場所に設置してください。  
(屋外には設置しないでください。)

取付・保守点検のため下記スペースを確保してください。

天井裏に設置する場合は、メンテナンスのため必ず点検口を設けてください。(下図参照)

制御ボックスの設置位置は、電源コード (3m) コントローラコード (8m) の長さを考慮して決めてください。  
制御ボックスの質量 (4kg) に耐えられる強度のある場所に設置してください。



スペースが取れない場合は、制御ボックスを点検口から取出せるように設置してください。

## 6. 施工要領

（浴槽下地づくり 浴槽の施工方法は、スーパーエクセレントバスは<浴槽本体>、ネオマーブ・ネオエクセレントバスは<ブローバスSX>の施工説明書を参照してください。）

### （１）接続コード取出口の施工

接続コードを壁に通す方法として、  
壁内に配線を埋め込む  
壁に開口をして配線を通す  
という２通りの方法があります。  
現場の壁や隣室の状態に合せ、適した施工を行ってください。

#### 壁内に配線を埋め込む場合

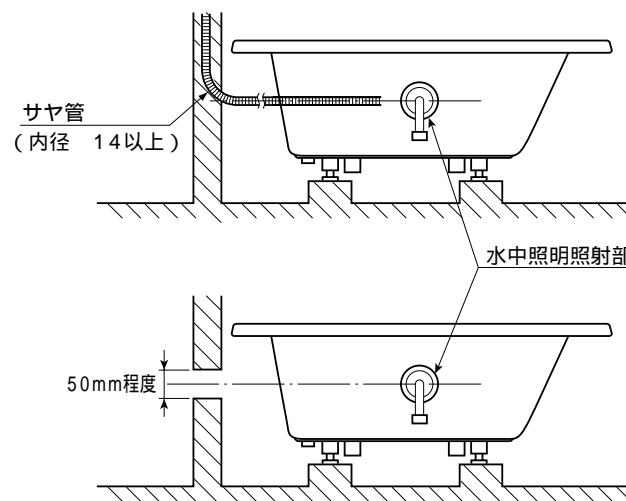
制御ボックスの設置位置（P17 参照）を考慮して接続コードの取出位置を決め、照射部とほぼ同じ高さにサヤ管が出てくるように、サヤ管を壁内に埋め込んでください。サヤ管は内径 14 以上を使用してください。

サヤ管（PF 管）は現場で手配願います。

#### 壁に開口をして配線を通す場合

〔接続コード取出口の開口〕

制御ボックスの設置位置（P17 参照）を考慮して接続コードの取出位置を決め、照射部とほぼ水平な高さで、50mm 程度の穴を壁にあけてください。



〔壁開口部の防水処理〕



注意

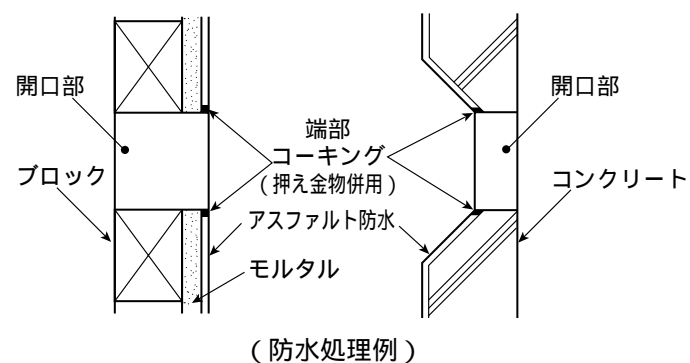


必ず実行

取出開口部の防水処理は、確実に行ってください。

工事に不備があると漏水し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

壁開口を行った場合は、下図にある防水処理剤を参考にして壁開口部の防水処理を行ってください。

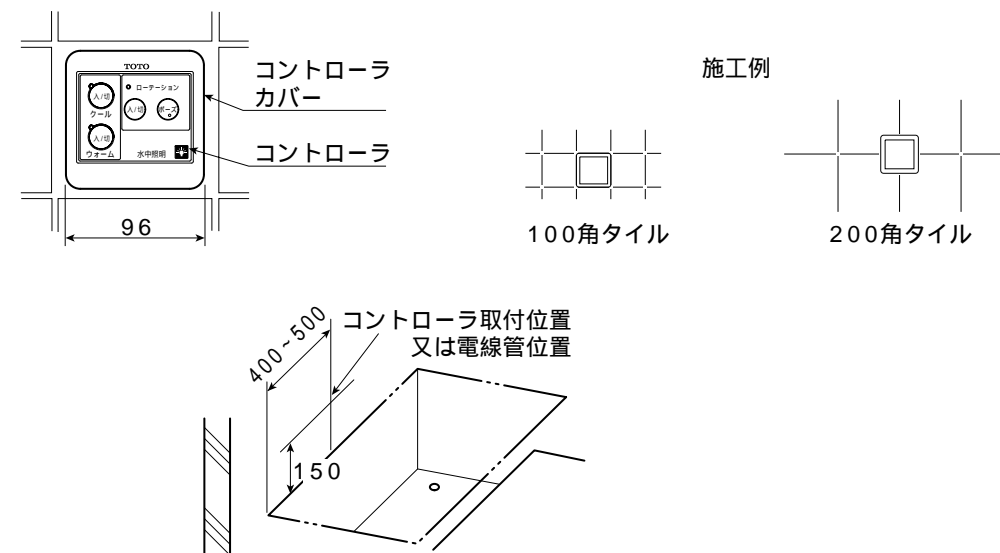


（防水処理例）

### （２）コントローラ取付位置の確認

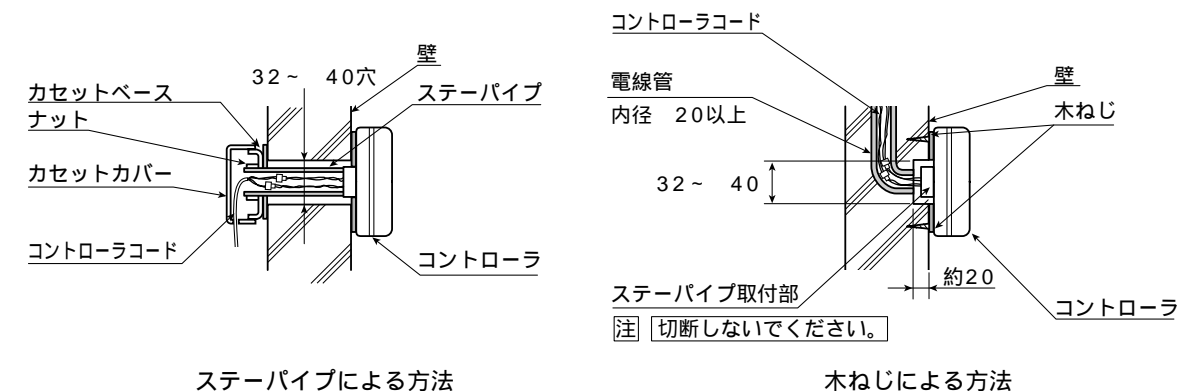
コントローラの外寸はW96mm×H96mmです。タイル貼り基準・浴槽据付基準を確認考慮のうえ、浴槽の中から容易に操作が行える位置にコントローラ取付位置墨を打ってください。

施工例



- 〔注〕 浴槽上面とコントローラ取付け芯は150mm以上離して取付けてください。  
また、インテリアバーを取付ける場合は、コントローラとの取合にご注意ください。
- 〔注〕 付属のコントローラコード（8芯ケーブル）の長さは8mです。  
8m以上必要な場合は、別売品の延長コントローラコード（P28 参照）を使用してください。
- 〔注〕 コントローラは直接壁に埋込まないでください。  
壁に埋込む場合は、別売品の専用埋込みコントローラキット（P27 参照）を使用してください。

コントローラの取付け方法には、「ステーパイプによる方法」と「木ねじによる方法」があります。  
現場の状況に合わせて選択してください。



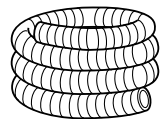
- 〔注〕 木ねじによる方法の場合は、事前に壁内に電線管（内径 20 以上）を設置してください。  
配線を埋め込むと、メンテナンスができなくなります。
- 〔注〕 コントローラ本体の「ステーパイプ取付け部を切断しない」でください。コントローラ内部に水が入り故障するおそれがあります。
- 〔注〕 コントローラコードは「コネクタ部を切断しない」でください。

( 3 ) サヤ管工事と接続コードの浴槽側への接続

〔サヤ管工事〕

水中照明の 接続コードは、必ずサヤ管（PF管など）を使用 して施工してください。サヤ管を使用しないと、接続コードのメンテナンスができなくなります。

事前準備部材( 現場手配 )

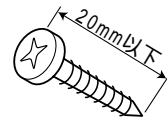


サヤ管（PF管など） 接続コード用  
内径 14mm以上

注「水道用サヤ管」は固くて曲げ半径が大きくなり、引き回しが難しくなりますので、必ず「電線用サヤ管」を手配してください。



サドルバンド（サヤ管固定用）  
接続コードサヤ管固定用  
参考：径称番号 13（呼び径 3/8）

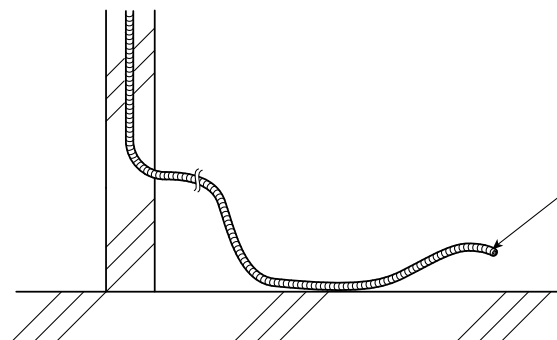


木ネジ  
サドルバンド固定用

注 ねじ長さは20mm以下としてください。  
浴槽の固定板の厚みが25mmしかありません。

各部材については現場に合わせて必要数量を手配してください。

注 サヤ管（PF管等）を浴槽下地づくり前に浴槽据付け部に取り出しておいてください。



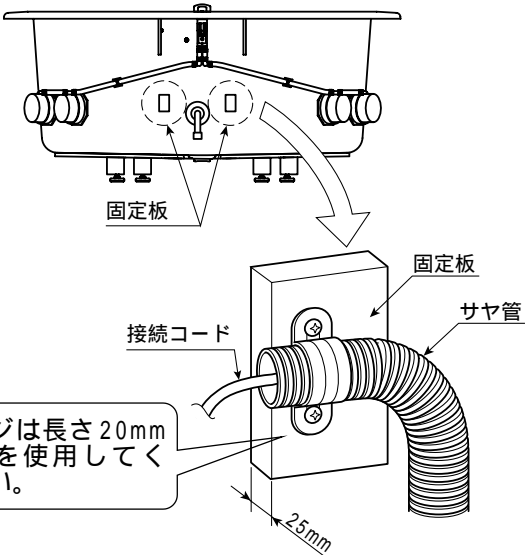
接続コード用サヤ管  
(内径 14mm以上)  
注)接続コードは1本のみです。

〔接続コード取付( 浴槽側 )〕

事前に取り出しておいたサヤ管（PF管など）に接続コードを通してください。（1本）  
浴槽についている固定板にサドルバンドでサヤ管（PF管など）を固定してください。

【参考】

- 接続コード用
- ・サヤ管...内径 14、外径 19
  - ・サドルバンド...径称番号 13（呼び径 3/8）

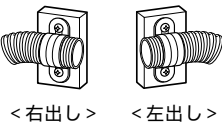


注：接続コードの施工については必ずサヤ管を使用してください。メンテナンスができなくなります。

注：サヤ管の出口は固定板の端に合せてください。

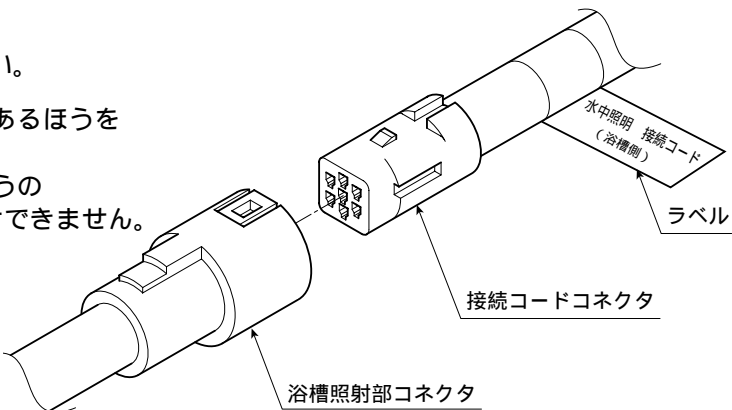
注：サヤ管固定の向きについては、現場の引き回しに応じ、取り出し方向を変更して取付けてください。

注：ブローバス SX のポンプや追焚アダプタが干渉しサヤ管が取付けにくい場合は、サヤ管の固定角度を変えるか、引き回しを変更し反対側の固定板を使用してください。

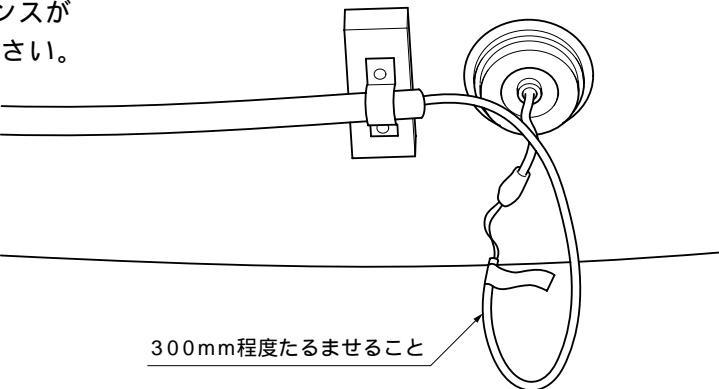


浴槽照射部のコネクタと接続コードのコネクタを  
“カチッ”と音がするまで確実に取付けてください。

注：接続コードは、「浴槽側」とラベルが貼ってあるほうを必ず浴槽側にしてください。  
「制御ボックス側」とラベルが貼ってあるほうのコネクタは、浴槽照射部コネクタとは取付けできません。



浴槽照射部の後ろ側で、接続コードはメンテナンスができるよう必ず300mm程度たるませてください。  
浴槽内側へLED発光体を引き出せなくなります。





# 排水管用 浴槽据付け 浴槽固定 浴槽の施工方法は、スーパーエクセレントバスは＜浴槽本体＞、 ネオマープバス・ネオエクセレントバスは、＜ブローバスSX＞の 施工説明書を参照してください。

## (4) 制御ボックスの取付け

警告

必ず実行

制御ボックスの取付けは、質量に十分耐える強度のある場所に確実に行ってください。  
必ず実行 工事に不備があると、制御ボックスの落下によりケガをするおそれがあります。

必ず実行

メタルラス張り・ワイヤラス張りなどの木造の造営物に制御ボックスを取付ける場合、制御ボックスと造営物とは電氣的に接続しないようにしてください。  
必ず実行 感電や発熱・火災の原因となります。

設置図

制御ボックスと照射部をつなぐ接続コードは10mです。  
10m以上必要な場合は浴槽据付け前に別売品の延長用接続コード（P.28 参照）をたしてください。  
制御ボックスの電源コードの長さは3mです。またコントローラコードは8mです。コードが届く範囲に取付けてください。  
屋内の浴室外で換気の良い場所に設置してください。  
制御ボックスは **屋外に設置しないでください。**  
天井裏に設置する場合は、メンテナンスのため必ず点検口を設けてください。

17

## 制御ボックスの設置

制御ボックスは、天井裏の点検口の近くに設置してください。  
点検口はメンテナンスのため下記寸法を確保してください。

## メタルラス張り・ワイヤラス張りなどの木造の造営物の場合 絶縁板の取付け

電気設備技術基準により、メタルラス張り・ワイヤラス張りなどの木造の造営物に電気機器を取付ける場合、機器と造営物とは、**電氣的に接続しないように** 施設しなければなりません。  
したがって右図のような施工が必要となります。

絶縁板取付けの詳細は別売品絶縁板（品番RHG696）の施工説明書をご参照ください。

壁掛け吊り金具  
絶縁プラグ  
絶縁スペーサー  
造営物(メタルラス張りなど)

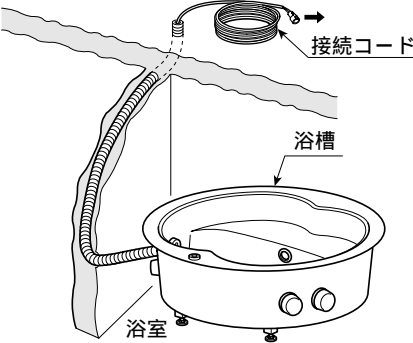
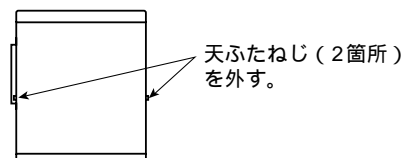
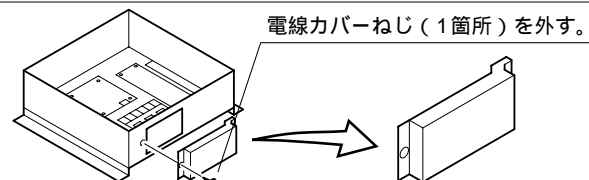
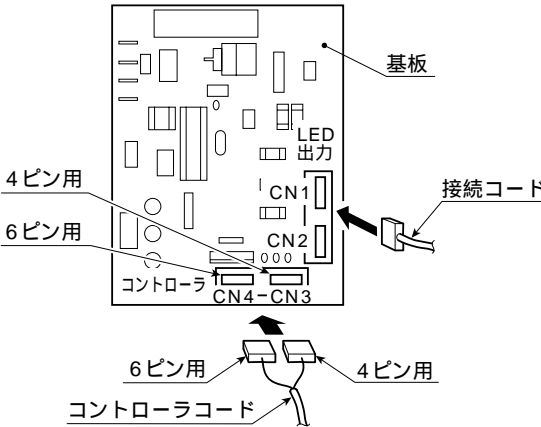
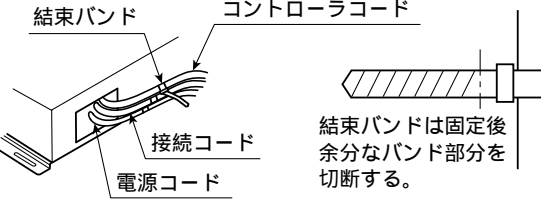
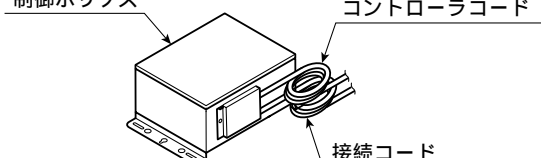
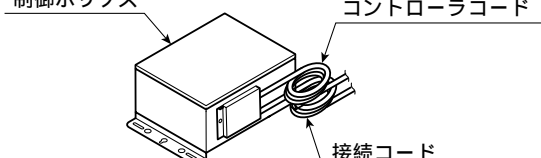
注 絶縁板の取付けは壁掛け吊り金具の絶縁板取付用穴を使用してください。  
印；絶縁板付属品(別売品)

18


(5) 接続コード・コントローラコードの制御ボックス側への接続

施工のポイント

接続コードが10m以上必要な場合は、浴槽据付前に、別売品の延長用接続コード(P28参照)をたしてください。コントローラコードが8m以上必要な場合は、コントローラコードを制御ボックスへ接続する前に、別売品の長尺コントローラコード(P28参照)に交換してください。

制御ボックス側の接続コードを、制御ボックス近くまで引っ張ってください。	
制御ボックスのふたのねじ(2箇所)を外し、ふたを取外してください。	
電線カバーのねじ(1箇所)を外し、電線カバーを取外してください。	
電線カバー開口部から接続コードを入れ、制御ボックス内基板上の「LED出力」と書かれたCN1またはCN2の基板コネクタに接続コードを「カチッ」と音がするまで確実に取付けてください。 CN1とCN2はどちらに取付けても結構です。	
電線カバー開口部からコントローラコードを入れ、制御ボックス内基板上の「コントローラ」を書かれたCN3(4ピン用)とCN4(6ピン用)の基板コネクタにコントローラコードのコネクタを「カチッ」と音がするまで確実に取付けてください。	
電線カバー下の結束バンドを使って接続コードおよびコントローラコードを固定し、固定後余分なバンド部分を切断してください。 コードを固定する際は、電源コードに近い方から行ってください。後で電気工事の方が配線を固定する際に作業しやすくなります。	
制御ボックスと電線カバーのふたとねじを取付けてください。 余った接続コードおよびコントローラコードは、制御ボックス側でまとめてください。	

(6) 浴室照明配線の接続

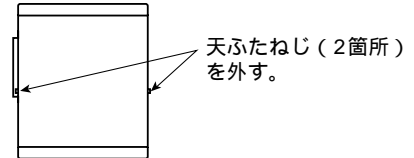
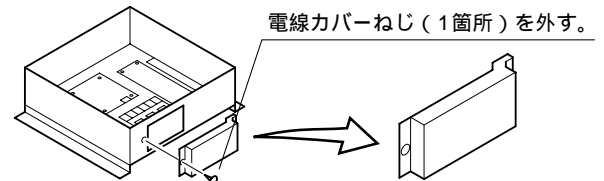
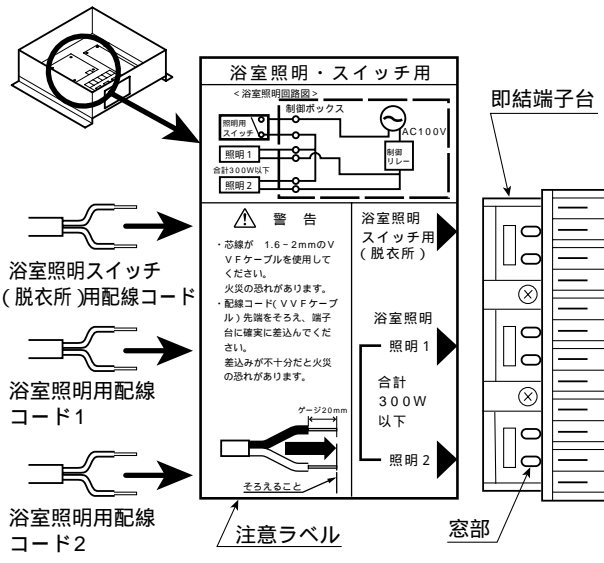
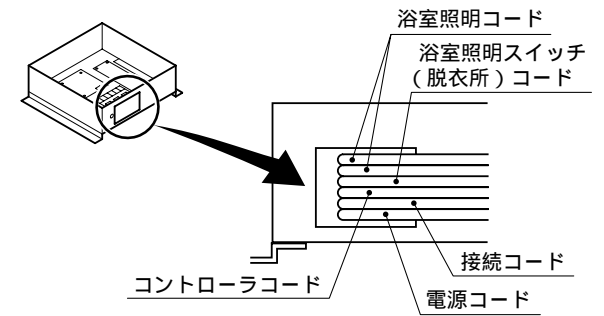


**警告**


必ず実行 電気工事は、関連する法令・法律にしたがって必ず「有資格者(電気工事士)」が行ってください。


必ず実行 浴室照明の配線接続は制御ボックスの電源が入っていないことを確認してから行ってください。  
感電の原因となります。

浴室照明配線を下記の手順にしたがって制御ボックスに接続してください。

浴室照明同期ユニットのふたのねじ(2箇所)を外し、ふたを取外してください。	
電線カバーのねじ(1箇所)を外し、電線カバーを取外してください。	
制御ボックス内に貼られている注意ラベルの方法にしたがい、浴室照明用および浴室照明スイッチ用(脱衣所)の配線コード(VVFケーブル：芯線 1.6~2mm)を即結端子台に差込んでください。 浴室照明の差込み口は2箇所ありますが、2箇所の定格消費電力が合計300W以下となるようにしてください。(2箇所合計が300W以下であれば、1箇所に300Wでも結構です。) ケージ長さは必ず20mmにしてください。 またきちんと差込まれているかを、必ず窓部を確認してください。 浴室照明スイッチ(脱衣所)用配線コードを差込まないと、浴室照明の点灯および消灯操作ができなくなりますので注意してください。	
電線カバー下の結束バンドを使って、浴室照明配線を固定し、接続コードと同様に固定後余分な部分は切断してください。 配線固定後、制御ボックスふたおよび電線カバーのふたとねじを取付けてください。	

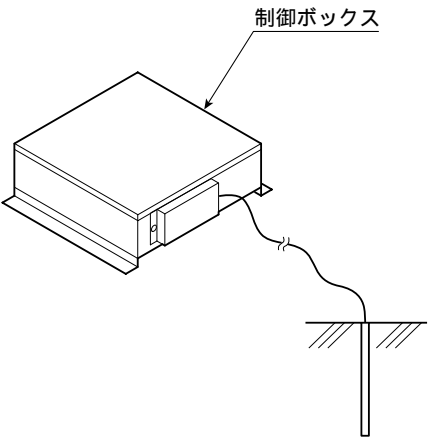
( 7 ) 電気工事

**警告**

**必ず実行**

電気工事は、関連する法令・法規にしたがって、必ず「有資格者(電気工事士)」が行ってください。  
この製品は、アースの接続( D種接地工事 )が絶対必要です。  
誤った工事を行うと、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

電源コード(制御ボックスにセット)の有効長さは3 mです。  
この制御ボックスの電源は交流100V( 50/60Hz共用 ) 定格消費電力は水中照明 40Wと浴室照明の定格消費電力をたして合計したものになります。

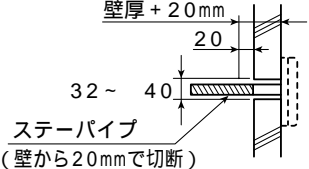
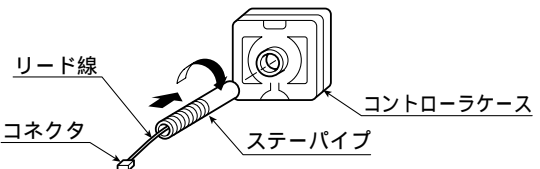
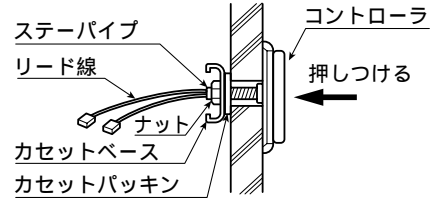
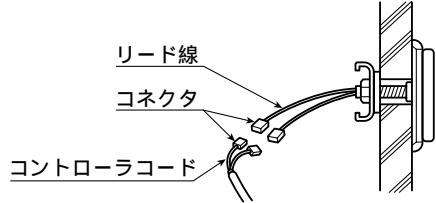
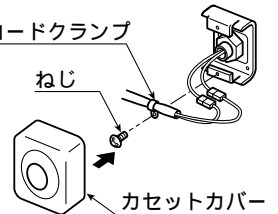


電源コード・アースコード( 3m )の届く範囲内で  
AC100V工事をおこなってください。

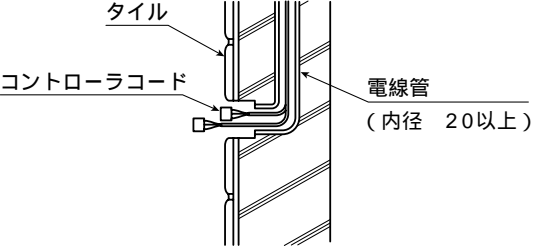
( 8 ) コントローラの取付け

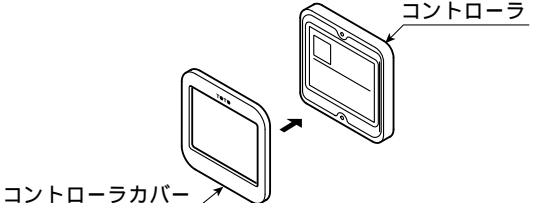
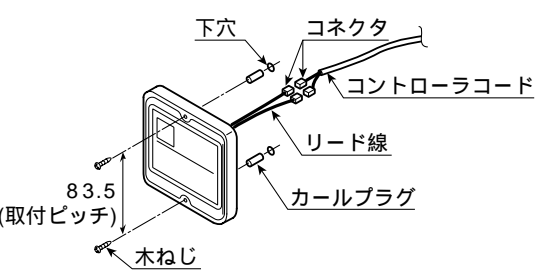
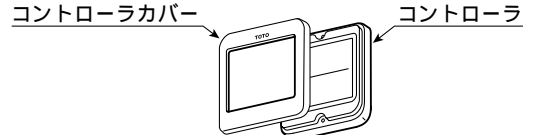
コントローラの取付け方法にはP 14の通り、「ステープパイプによる方法」と「木ねじによる方法」があります。  
現場の状況に合わせて選択してください。

ステープパイプによる方法

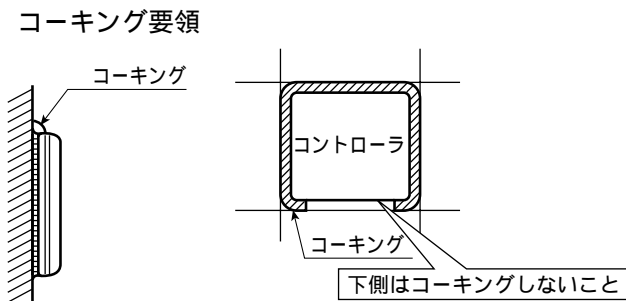
壁厚を測定し、 <b>壁厚 + 20mmの長さ</b> にステープパイプを切断してください。 ( 注 ) コントローラの取付後切断しますと、 <b>リード線を切るおそれ</b> があります。壁の厚みは220mmまで取付け可能です。220mm 以上の場合はP28の長尺ステープパイプ( 別売品 )を手配してください。	
ステープパイプにリード線を通し、コントローラケースにねじ込んでください。	
コントローラ裏面のパッキンのはくり紙をはがし、ステープパイプを壁穴にそう入し、ステープパイプにカセットパッキン、カセットベースを通して、ナットで固定してください。 上下・左右各± 5mmの位置調整ができます。 タイル目地に合わせて調整してください。	
コントローラコードのコネクタとリード線のコネクタを接続してください。	
コントローラコードの太い被覆部をコードクランプでカセットベースにねじ固定してください。 ( 注 ) コネクタは <b>カセットカバー内に必ずおさめて</b> ください。	

木ねじによる方法

壁に埋込んだ電線管( 内径 20 以上 )にコントローラコードを通して、浴室まで配線をしてください。 <b>注</b> コントローラコードを切断したり強く引っ張らないでください。	
--	---

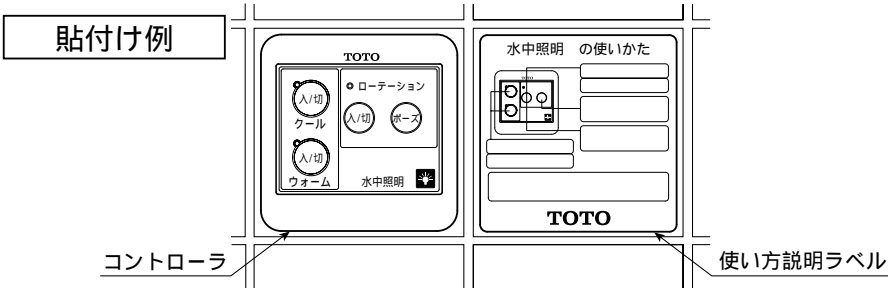
コントローラカバーを取外します。	
コントローラ裏面のパッキンのはくり紙をはがし、コントローラコードのコネクタとリード線のコネクタを接続し、付属の木ねじ2本でコントローラケースを壁に固定します。 <b>注</b> カールプラグは現場にて手配願います。 丸木ねじの位置出しは、同梱のケガキ用クギを利用してください。 上下・左右各±5mmの位置調整ができます。 タイル目地に合わせて調整してください。	
コントローラカバーを取付けます。	

- 動作確認後、コントローラの上側および両横側をコーキングしてください。
- 注** コーキングする前に水中照明 が作動するか確認してください。( P 25 ~ P 27 参照 )
- 注** コントローラの **下側はコーキングしない** てください。水抜き穴がふさがれてコントローラ内部に水が浸入し、故障の原因となります。




- 注** 余ったコードは制御ボックスの外でまとめておいてください。


コーキング後、コントローラ近くの見やすい位置に「使い方説明ラベル」を貼ってください。



## ( 9 ) 取出口カバーの取付け ( 壁を開口している場合のみ )

壁に開口をして配線を通していている場合は、下記要領で開口部をふさいでください。

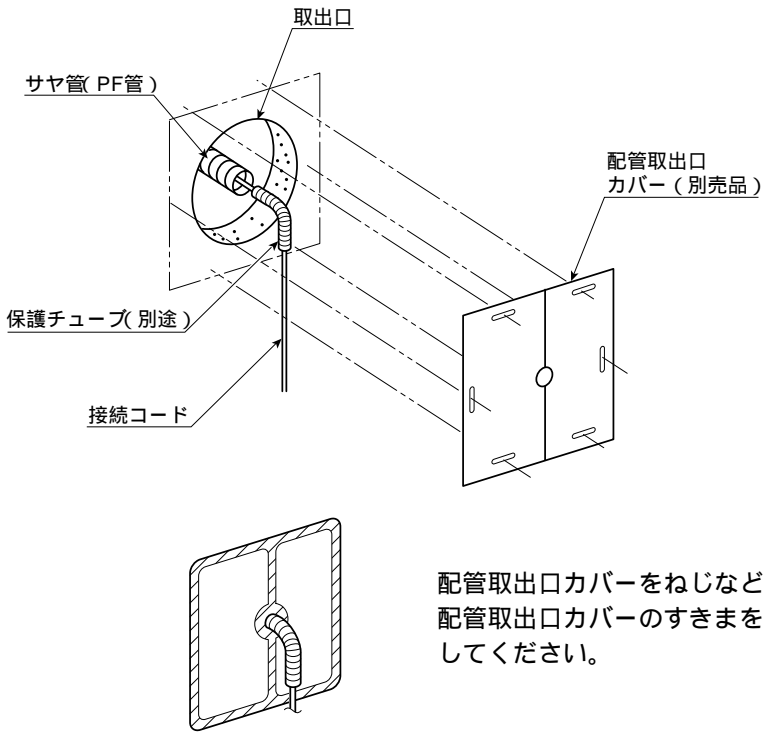
**注意**

**禁止**

モルタルなどで取出口を埋め込まないでください。  
メンテナンスできなくなります。

取出口をカバー ( ステンレス板など ) でふさいでください。

取出口カバーは別売品 ( P 28 参照 ) をご用意していますが、現場で準備していただいても結構です。



接続コード用保護チューブは現場にて手配願います。

- 注** 取出口カバーの出口で接続コードが引張られないように余裕を持たせてください。  
接続コードは **照射部近くでたるみを持たせて** ください。  
たるみがない場合施工後 LED 発光体部品のメンテナンスができなくなります。

## ( 10 ) 点検

設置ならびに工事が終わりましたら、以下の内容で確認および試運転を行ってください。



**警告**



**必ず実行**

施工完了後、漏電ブレーカーの作動確認を必ず行ってください。

漏電ブレーカーが正常に作動しないと感電や火災の原因となります。

漏電ブレーカーが正常に作動するか、作動確認を行ってください。

制御ボックスのふたを外してください。

漏電ブレーカーのテストボタンを押してください。

赤いランプが点灯すれば正常です。

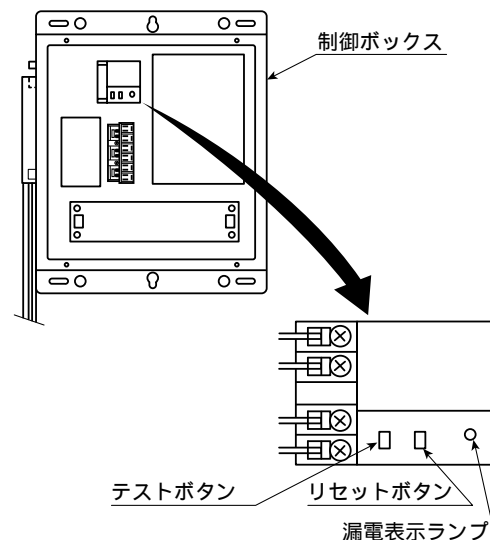
赤いランプが点灯しない場合は、修理を依頼してください。

点検が終了したら、必ずリセットボタンを押し、赤いランプが消えていることを確認してください。

制御ボックスのふたを取付けてください。

制御ボックスの周辺に、点検・修理など保守管理に必要な空間があるか確認してください。

余ったコードは邪魔にならないようにまとめてあるか確認してください。

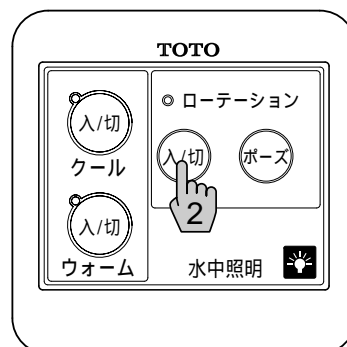


## ( 11 ) 試運転

以下の手順で試運転を行ってください。

脱衣所にある浴室照明スイッチを「入」にして、浴室照明を点灯させてください。

コントローラのローテーションスイッチを押してください。浴室照明が消えて、浴槽の水中照明照射部が点灯して色が変わることを確認してください。またコントローラの「ローテーション」文字左のランプが点灯していることを確認してください。



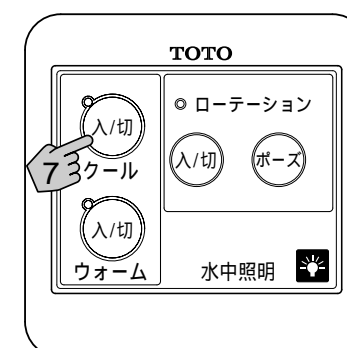
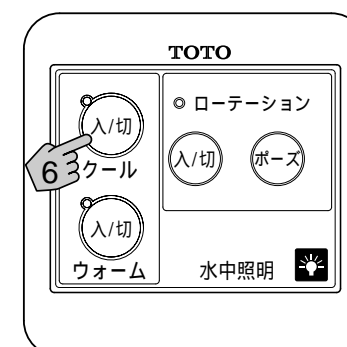
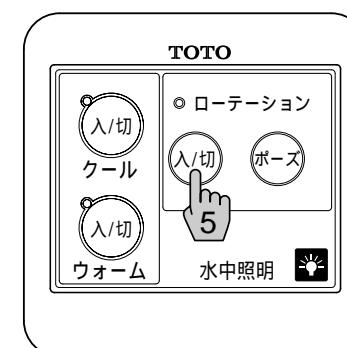
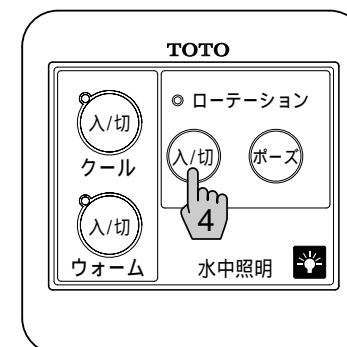
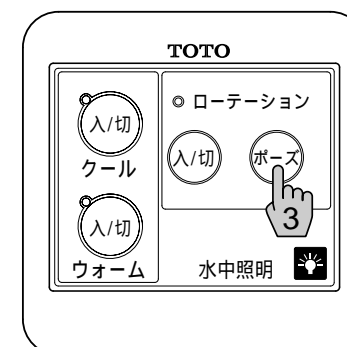
ローテーション点灯しているときにコントローラのポーズスイッチを押して、水中照明の光がポーズスイッチを押したときの点灯色で一時停止していることを確認してください。

コントローラのローテーションスイッチを押して、点灯色の一時停止が解除され、点灯色が変わることを確認してください。

コントローラのローテーションスイッチをもう一度押してください。水中照明が消えて、浴室照明が点灯することを確認してください。またコントローラの「ローテーション」文字左のランプが消えていることを確認してください。

コントローラのシーン照明クールスイッチを押してください。浴室照明が消えて、浴槽の水中照明照射部が点灯し色が変わることを確認してください。またコントローラのクールスイッチ左隣のランプが点灯していることを確認してください。

コントローラのシーン照明クールスイッチをもう一度押してください。水中照明が消えて、浴室照明が点灯することを確認してください。またコントローラのクールスイッチ左隣のランプが消えていることを確認してください。

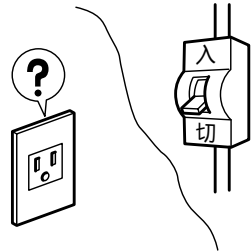


コントローラのシーン照明ウォームスイッチを押してください。浴室照明が消えて、浴槽の水中照明 照射部が点灯して色が変わることを確認してください。またコントローラのウォームスイッチ左隅のランプが点灯していることを確認してください。

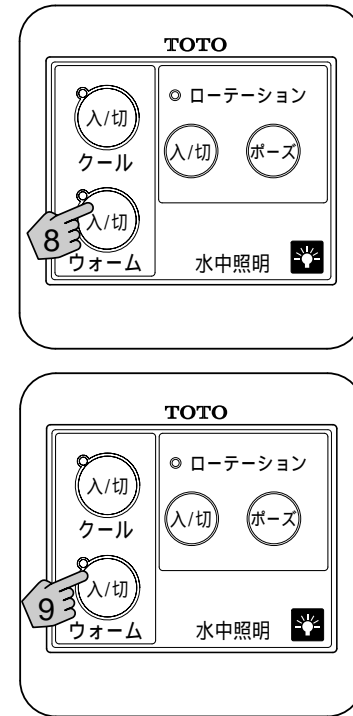
コントローラのシーン照明ウォームスイッチをもう一度押してください。水中照明 が消えて、浴室照明が点灯することを確認してください。またコントローラのウォームスイッチ左隅のランプが消えていることを確認してください。

上記試運転で作動しない場合、すぐ故障と決めつけず、次のことを確認してください。

電源電圧は正規にきていますか？



( 処置方法 )  
電源電圧を確認してください。



## 7. 別売品

別売品は各々の製品に同梱されている施工説明書にしたがって取付工事を行ってください。

品 名	品 番	希望小売価格	必要数 / 台	形 状	用 途
埋込コントローラキット ( 1 ヶ用 )	PZ6026	¥ 18,000	1		水中照明コントローラを浴室壁面に埋込む場合に使用します。
埋込コントローラキット ( 2 ヶ用 )	PZ6025	¥ 28,000	1		水中照明コントローラとエアブローコントローラを浴室壁面に埋込む場合に使用します。
コントローラコード	10m PZ6017	¥ 7,500	1		制御ボックスとコントローラが付属の 8 m のコントローラコードではとどかない場合に使用します。
	15m PZ6018	¥ 10,000			
ステーパイプ	FH77	¥ 3,000	1		壁の厚みが 220 mm 以上の場合、最大壁厚 400 mm まで対応可能なステーパイプです。
接続コード 取出口カバー	PZ6015	¥ 13,000	1		壁開口部に取付けるステンレス製カバーです。
絶縁板	RHG696	¥ 320	1		機能部を壁にかけた場合、壁と機能部を絶縁するためのセットです。
延長用接続コード ( 5 m )	PZ6019	¥ 6,000	1		制御ボックスを浴槽と標準以上に離れた位置に設置した場合に付属の接続コードが届かないことがあります。その場合に付属の接続コードにつけたして使用します。